

メニエール病とは？

自覚症状にはこんなものがあります。

自分の周りがぐるぐる回る又は自分の体が回転するようなめまいがする、耳が聞こえにくい(難聴)、耳鳴りがする、耳が塞がれたような感じがする(耳閉塞感)、音に過剰に反応する、音が割れて聞こえる、頭痛、頭が重い、肩こりなど

主症状はめまい、耳鳴、耳が聞こえにくい(難聴)などです。めまいは回転性のめまい(自分の周囲がぐるぐる回るまたは自分の体が回転する)で繰り返し起こります。めまいはストレスによって起こりやすく、数時間から1日程度のものが多いのですが、数日間もめまいが続く場合は他の病気が考えられます。また、めまいが起こるとそれに伴って耳鳴や難聴などの症状が強くなります。

メニエール病の原因は？

メニエール病はめまい、耳鳴、難聴などが主な症状である内耳の疾患です。内耳は前庭系とうずまき管に分けられます。前庭系でからだの回転を感じることができ、うずまき管で音を感じ取ることができます。前庭系とうずまき管の内部はリンパ液で満たされています。メニエール病は内耳に内リンパ水腫ができて、リンパ液の流れが変化するためにめまいが起こります。また、前庭系とうずまき管は近い位置にあるため、めまいとともに耳が聞こえにくいという症状が多く現われます。

治療

メニエール病の治療は薬物が中心で、一部では手術が行われます。薬物療法ではめまい発作の起こっているときと、めまい発作の起こっていないときとで若干異なっています。

治療方針

薬物療法

めまい発作が起こっているときは楽な体勢にして、点滴が行われます。また、めまい発作が起こっていないときでは発作が起きないように内服薬で治療します。

手術療法

薬物治療が効果が無い場合などに行われます。

使用される主な薬物

【めまい発作が起こっているとき】

・利尿薬(ダイアモックス、イソパイドなど)

メニエール病の原因とされる内リンパ水腫に使われ、耳の聞こえを良くします。

・鎮吐剤

悪心、嘔吐を抑えます。

・精神安定剤

めまいによる不安感などを取り除きます。

・重曹水(メイロン)

メニエール病の悪心、嘔吐、めまいを改善します。

・抗めまい剤(トラベルミンなど)

悪心、嘔吐、めまいを抑えます。

【めまい発作の起こっていないとき】

・イソパイド

内リンパ水腫に用いられ、耳の聞こえを良くします。

・循環改善剤(メリスロン、セファドール、カルナクリンなど)

代謝賦活剤(アデホスなど)

内耳のリンパ液の循環を良くしてめまいなどの症状を改善します。

・その他、副腎皮質ステロイド剤(リンデロン、プレドニンなど)等

めまい発作再発の予防

規則的な生活をして、過労や睡眠不足などストレスとなることはできるだけ避けましょう。